



## 検討会を終えて

【M1 廣瀬さん】

今回の授業は難しいテーマで、終始考えさせられる授業でした！こんな授業を受けられる生徒は幸せだなと思いました！

最後には聞きたいことも聞けて、勉強になりました！

こうやって先輩と関われる機会があってとても嬉しいです！次回も楽しみにしています！

【M2 山口さん】

資料1と資料2から「環境を変える」に気づかせるのが一筋縄ではいかないように、教員から伝えたいことを伝えるのではなく、子どもたちが気づくように導くのは難しいなあと感じました。最終的に全ての子どもに気づいてもらうにはどんな手立てがあるかなあと考えさせられました。そもそも、必要か・必要でないか(0か100か)の2択ではなくて3択目を考えられる力を育てたいなあと感じました。

【小学校 巻川先生】

自分事で考えることができる授業でした。

「女性差別と障がいの差別が同質のものであるのかどうか」と意見が出たとき、「差別の捉え方は人それぞれである」ことに気付くことができました。「差別」という言葉がひとり歩きしないように具体的な事柄を踏まえて今後の社会や自分の在り方について考えるキッカケになるため、感情論で「女性や障がい者には優しくしなさい」と安易に捉えることがないようにすることが授業のポイントになると思いました。なぜ、自分には関係ない人に優しくするのか、みんな幸せにならないといけないのか、当事者意識をもたせることの難しさを感じるとともに、みんなが同じ目標に向かって何かを成し遂げることを経験させることの大切さを学べる機会にもなりました。

現職で先生をされている元院生の授業を受講することができて光栄です。

次回は・・・

小学校の授業を阪下もしくはユジン先生が模擬授業で行います！  
日程はまだ未定★  
よろしくお願いいたします！

